

新潟県立吉田病院附属看護専門学校

第50回 卒業証書授与式

穏やかな春の日差しを感じられるなか、卒業証書授与式が行われました。



多くのご来賓の方々や保護者の方々、病院関係者の皆様、在校生そして教職員が見守るなか、50期生19名が、一人ひとり学校長から卒業証書を受け取りました。

壇上で証書を受け取る際の表情には、卒業の日を迎えられた喜び、ともに歩んだ仲間との別れの寂しさ、2年間の学びで得た自信、これから専門職業人として働く決意などが感じられました。

卒業生代表の答辞では、2年間で振り返り、学校生活を支えてくれた家族、励ましあったクラスメイト、実習を受け入れてくださった患者様、ご指導いただいた講師の先生方や病院スタッフの皆様への感謝の言葉が述べられました。

学生一人ひとりが、自分自身と重ね合わせ、涙する姿もあり、感動的な卒業式となりました。



卒業生の先輩である、同窓会長様よりご祝辞を頂き、その中に『置かれた場所で咲きなさい』という、渡辺和子さんの著書から引用された言葉がありました。卒業後、卒業生は新潟県立病院や高度医療を提供する病院、地域医療を担う病院、リハビリテーションや療養型の病院、精神科の病院などさまざまな病院に就職します。また、ゆくゆくは訪問看護に携わりたいという思いを持っている人もいます。医療・看護を取り巻く状況が変化し、看護実践の場が多様化するなか、卒業生の皆さんが、『置かれた場所』で咲き続けることを、教職員一同祈念いたします。

平成31年3月